

木材需給動向について (全国)

2024年9月

林野庁

全国の木材需給動向について、
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて
毎月資料を更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



さらに・・・

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」
木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計
データや、林野庁の施策に関するトピックス、セ
ミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月
中旬に更新しています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html>
（QRコードからもアクセスできます。）



目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国）

(2) 合板（全国）

(3) チップ（全国）

3 住宅着工戸数の動向

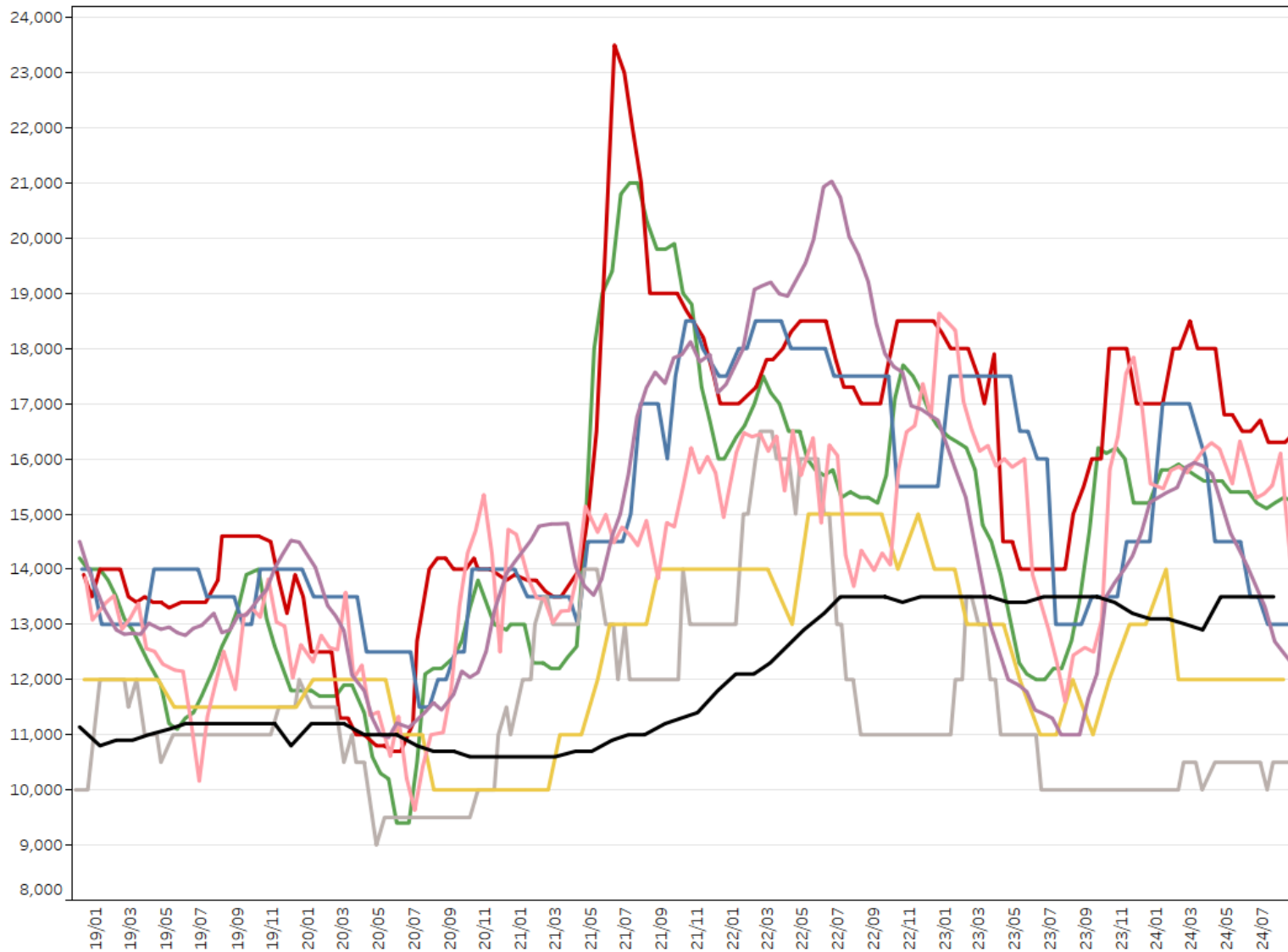
4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)

ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、10,500円~16,500円/m³となっている。

(円/m³)



(単位：円/m³)

都道府県	2024年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	13,500	13,500	100%
秋田県	12,300	11,000	112%
栃木県	13,730	12,580	109%
長野県	12,000	12,000	100%
岡山県	10,500	10,000	105%
高知県	13,000	13,000	100%
熊本県	16,500	15,500	106%
宮崎県	15,200	13,500	113%

※北海道については7月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については8月の値を使用。

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

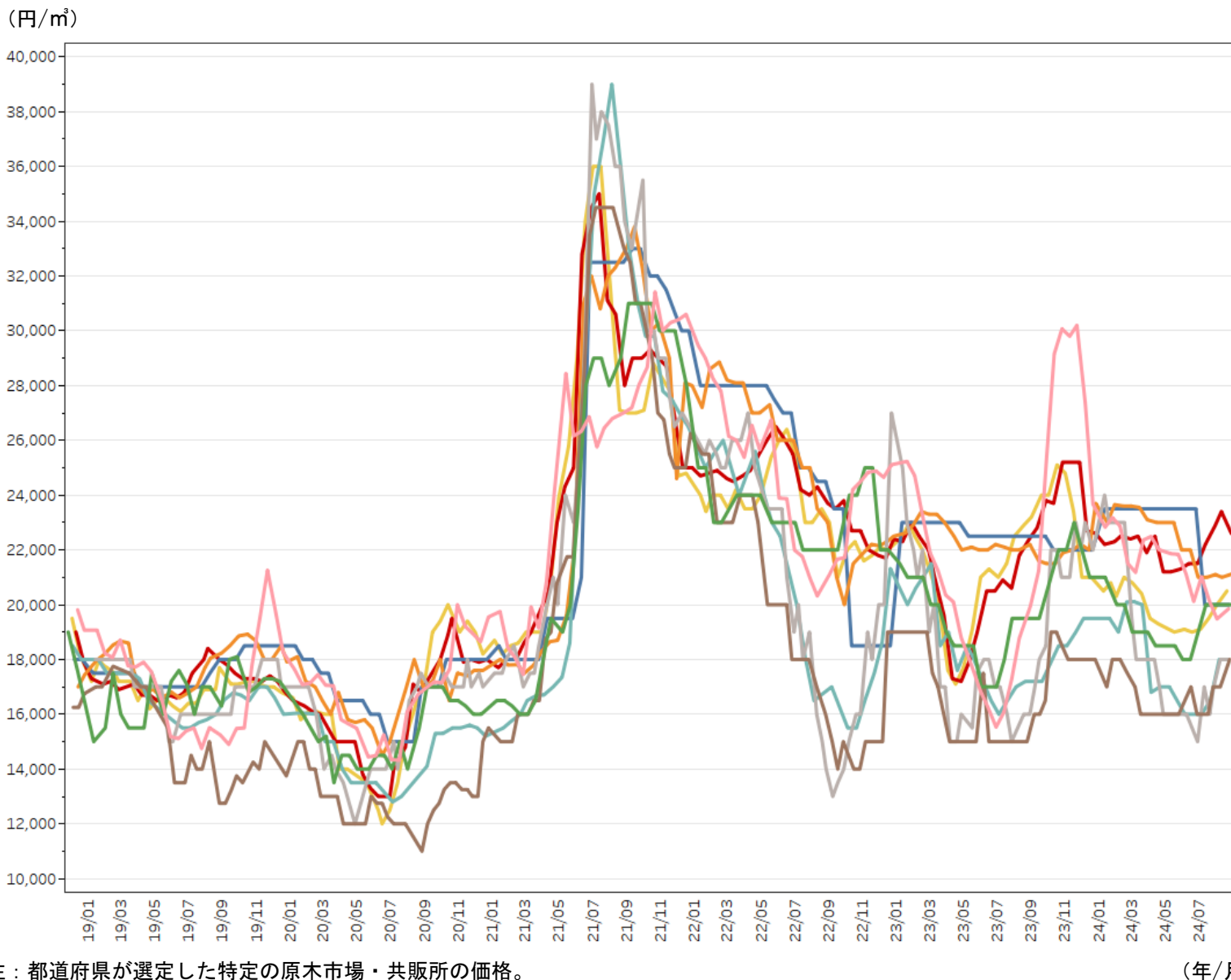
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(年/月)

資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、18,000円～22,600円/m³となっている。



(単位：円/m³)

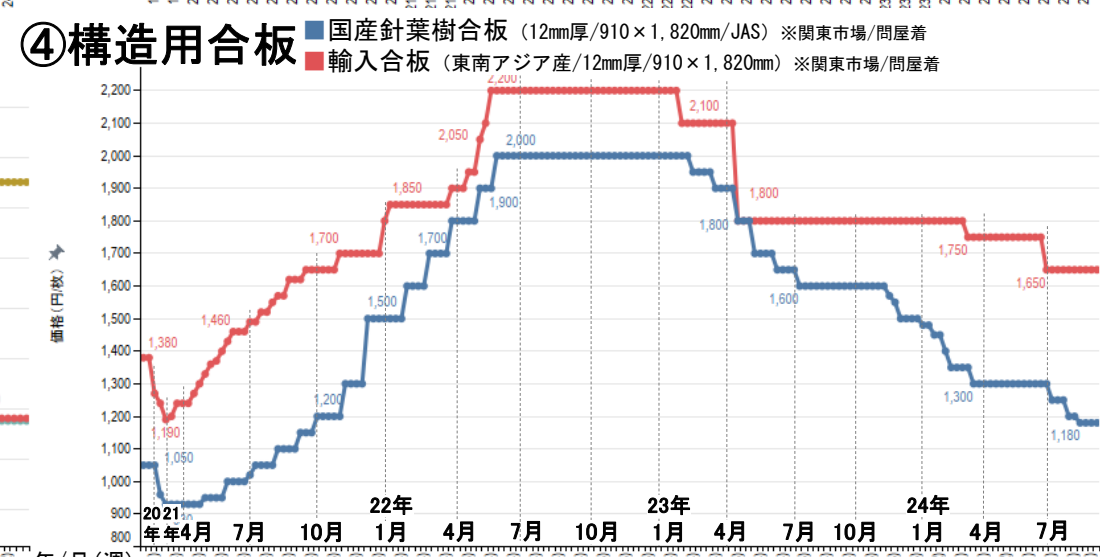
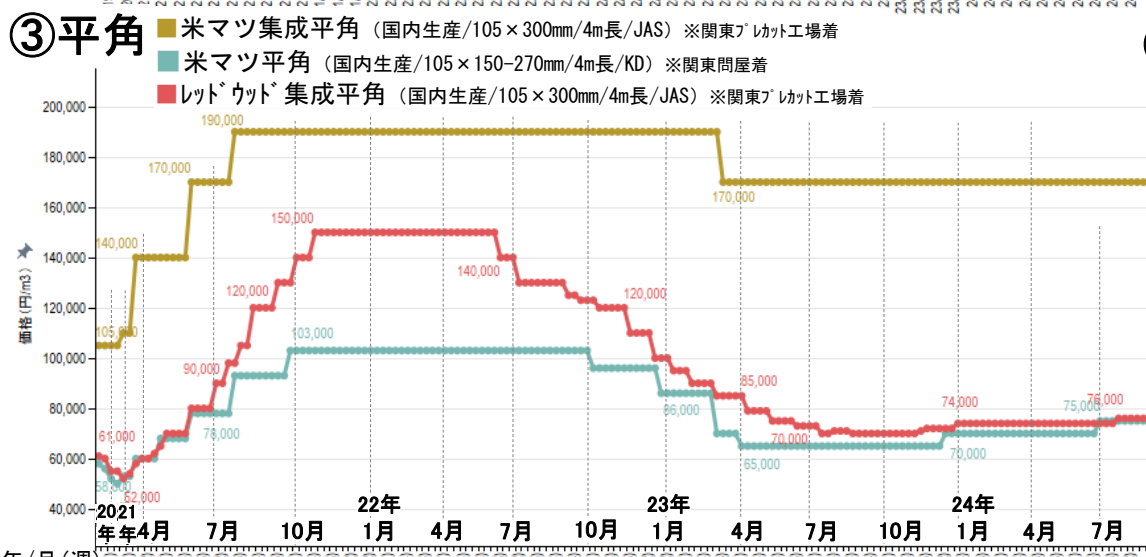
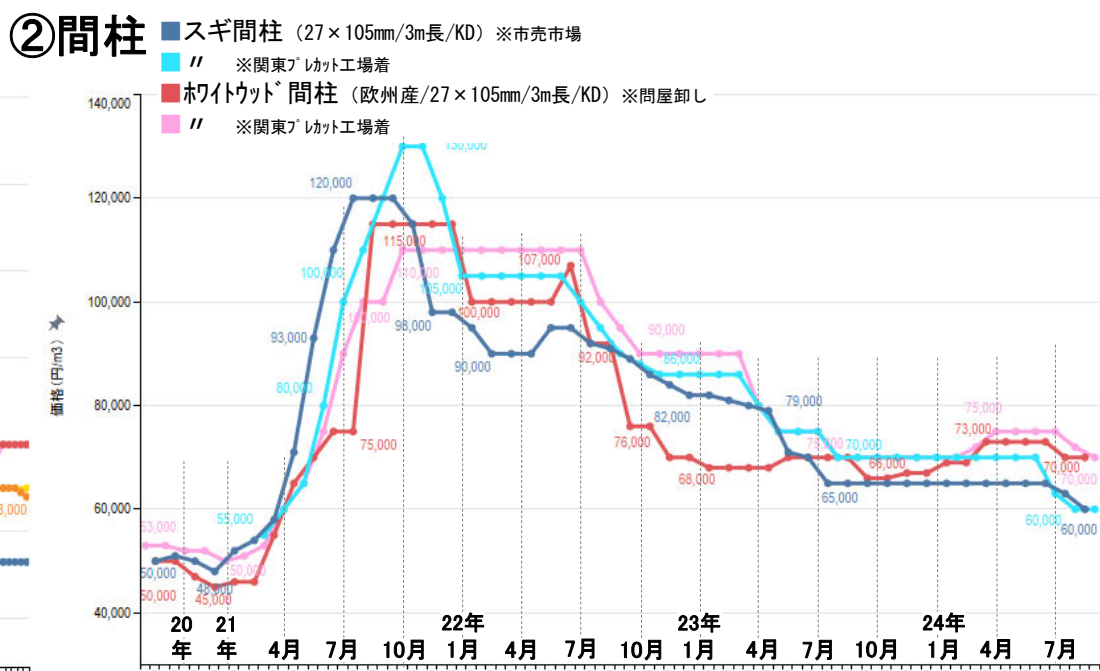
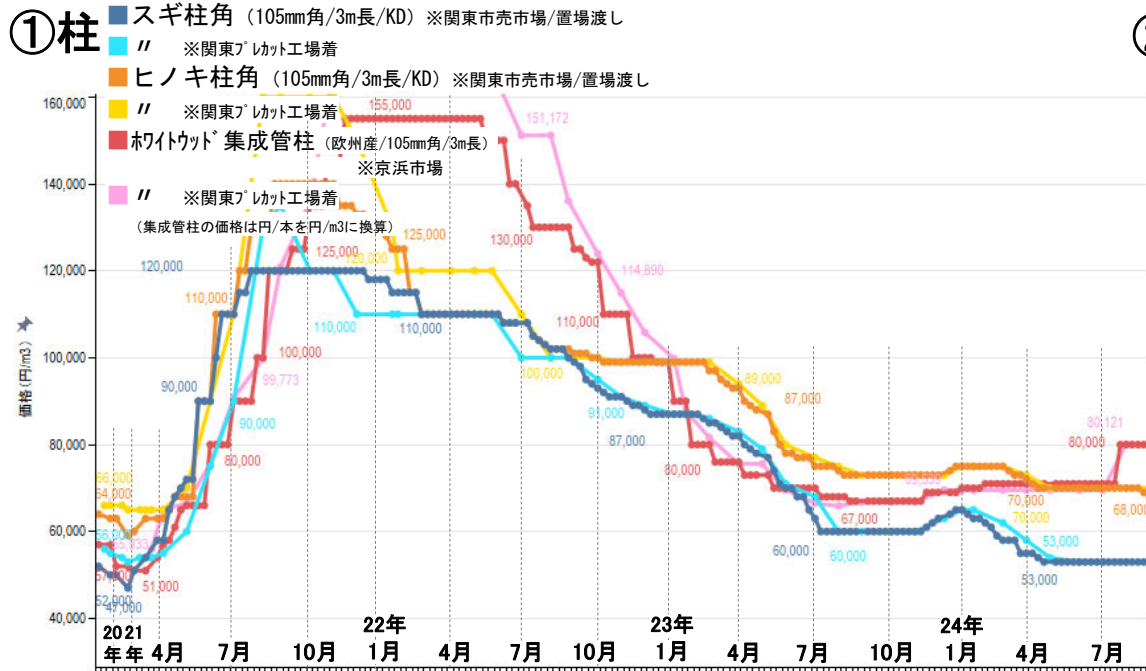
都道府県	2024年直近*	前年同期	前年同期比
栃木県	19,850	19,950	99%
静岡県	20,000	19,500	103%
兵庫県	18,000	15,000	120%
岡山県	18,000	16,000	113%
広島県	18,000	17,200	105%
愛媛県	21,120	22,200	95%
高知県	20,000	22,500	89%
熊本県	22,600	22,400	101%
大分県	20,500	22,900	90%

※各県8月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

(2) 製品価格

- 令和3(2021)年は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。令和4(2022)年以降、柱、間柱、平角の価格は長期的に下落傾向であったが、令和5年夏頃より概ね横ばいで推移。構造用合板の価格は、令和5(2023)年以降、下落傾向。国産材の柱や土台の価格は、令和6(2024)年に入ってから再び下落傾向。

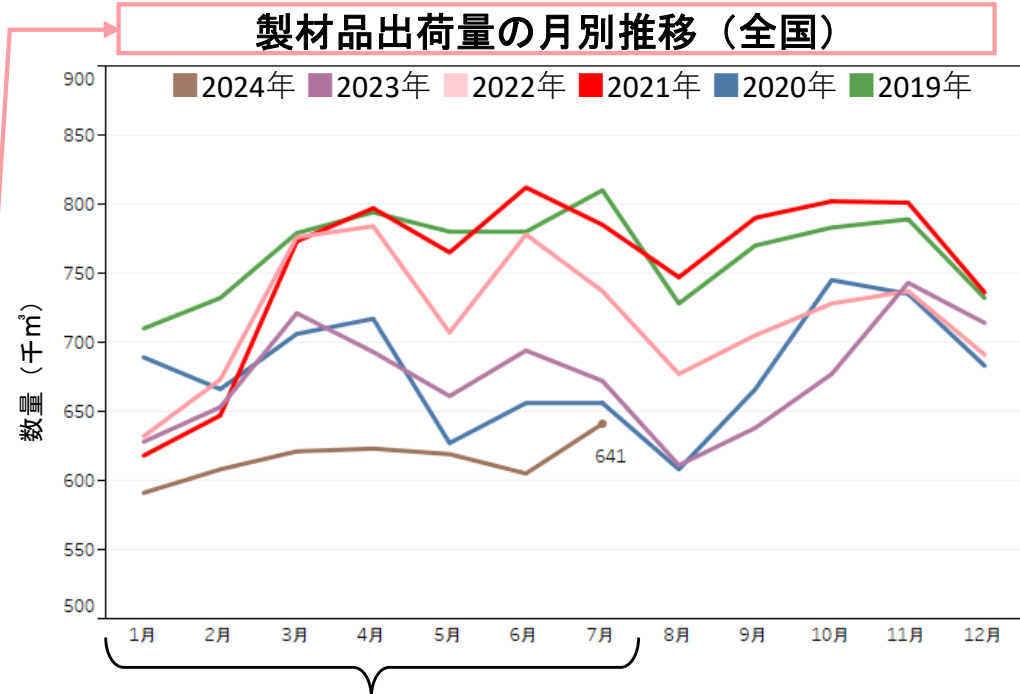
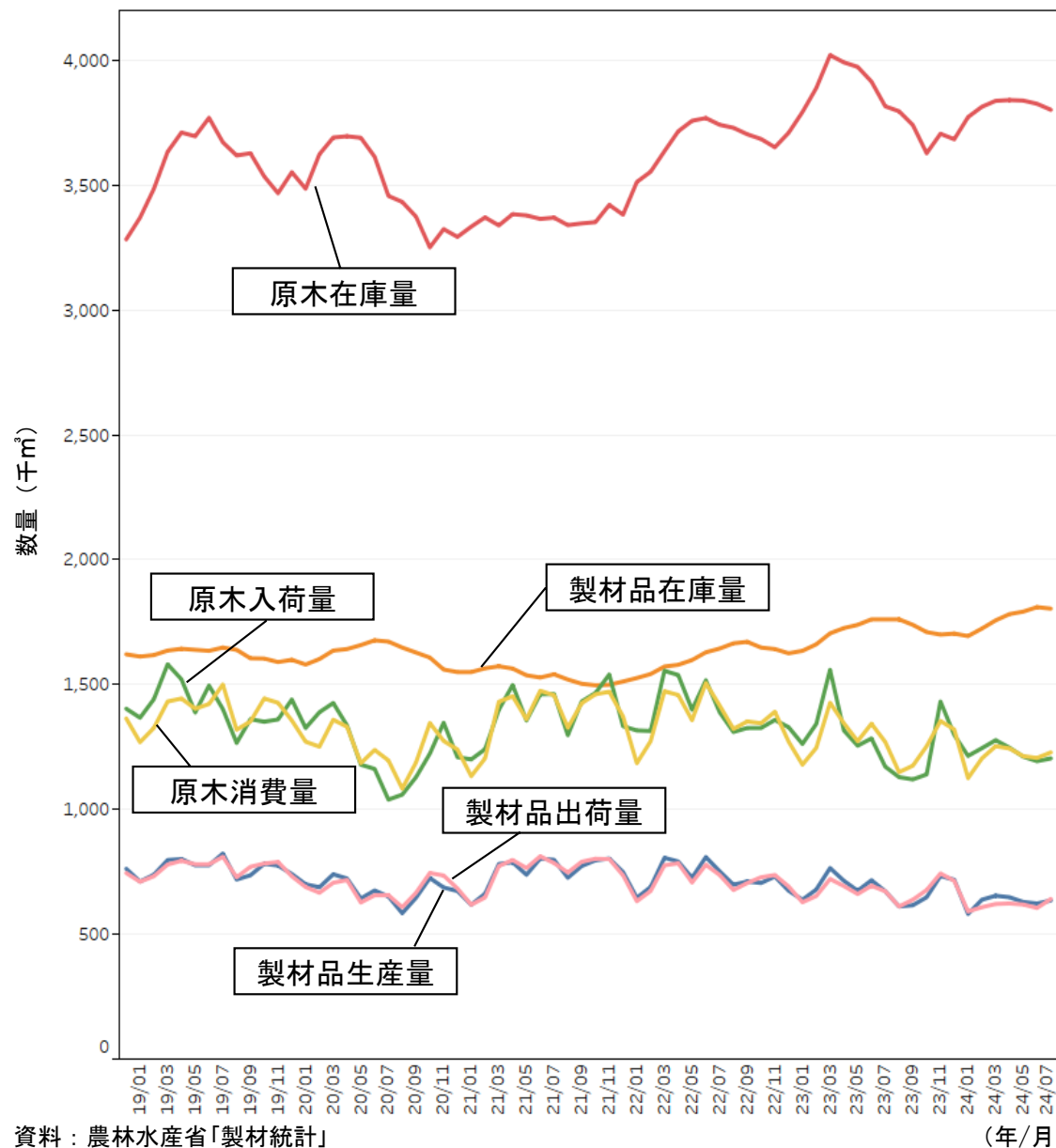


資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材 (全国)

- 2024年1～7月の原木の入荷量は8,591千m³ (2019年比84%)。
- 同様に製材品の出荷量は4,308千m³ (2019年比80%)。

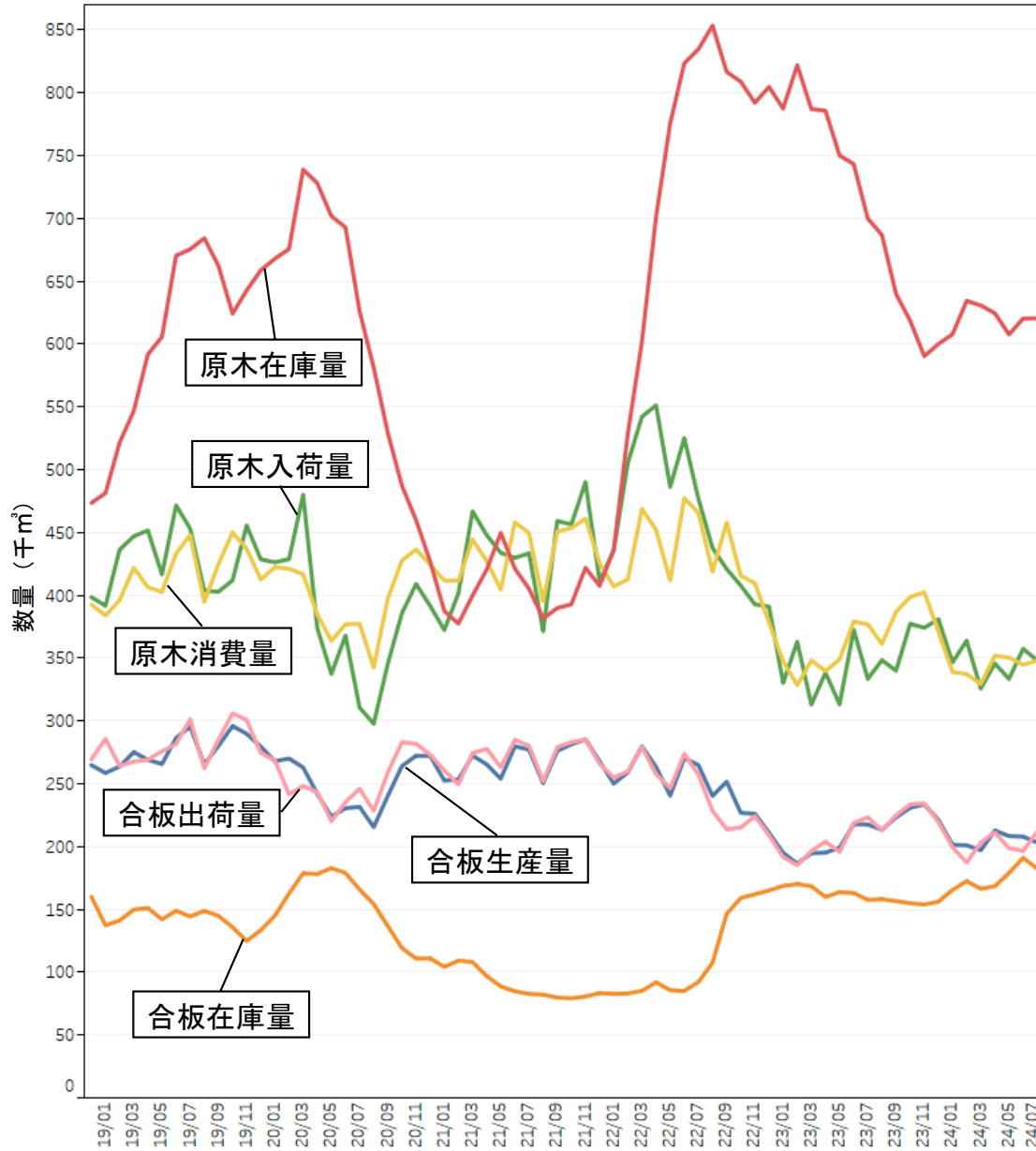


	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～7月原木入荷量合計(千m ³)	10,196	8,857	9,617	10,028	9,189	8,591
2019年との比較*	—	87%	94%	98%	90%	84%
1～7月製材品出荷量合計(千m ³)	5,385	4,717	5,197	5,087	4,722	4,308
2019年との比較*	—	88%	97%	94%	88%	80%

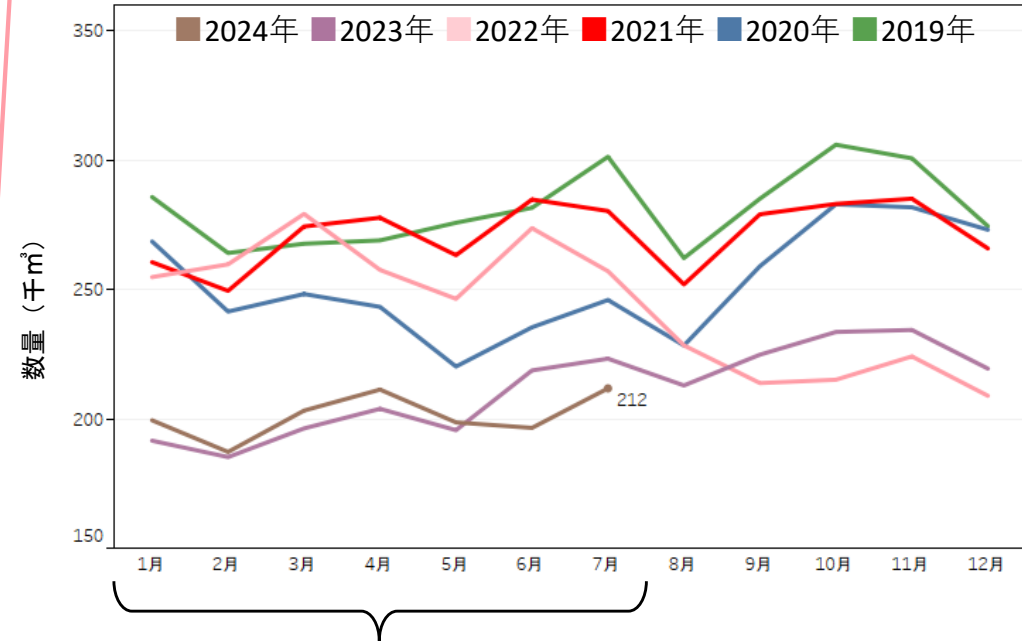
※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(2) 合板 (全国)

- 2024年1～7月の原木の入荷量は2,421千m³ (2019年比79%)。
- 同様に合板の出荷量は1,408千m³ (2019年比72%)。



合板出荷量の月別推移 (全国)

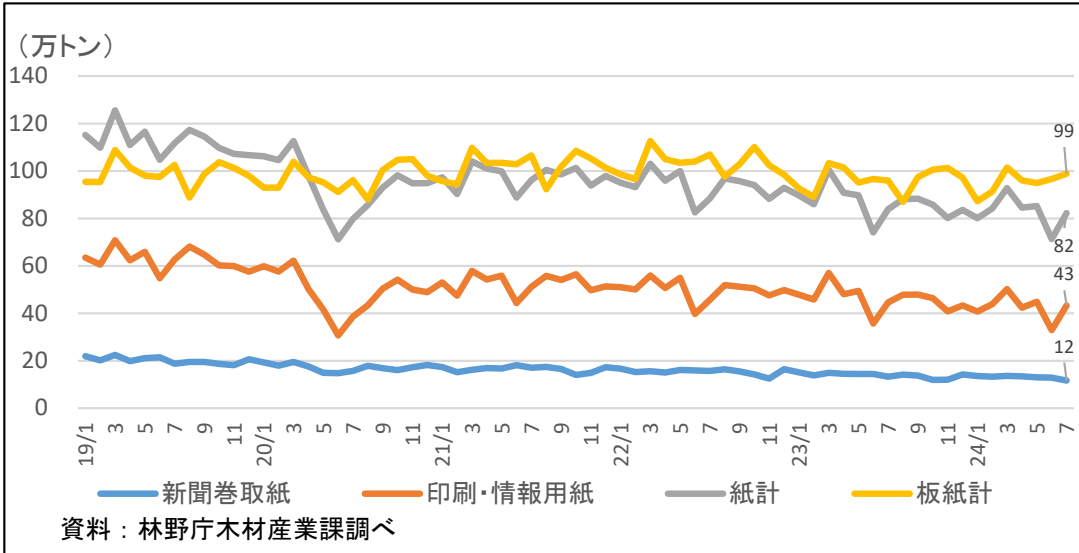
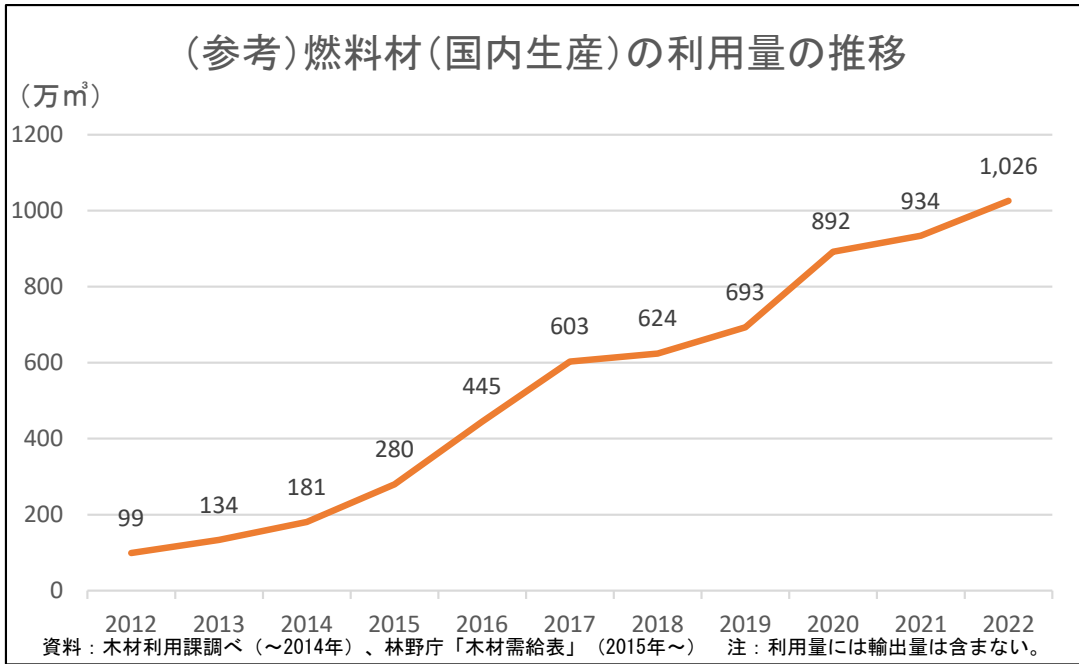
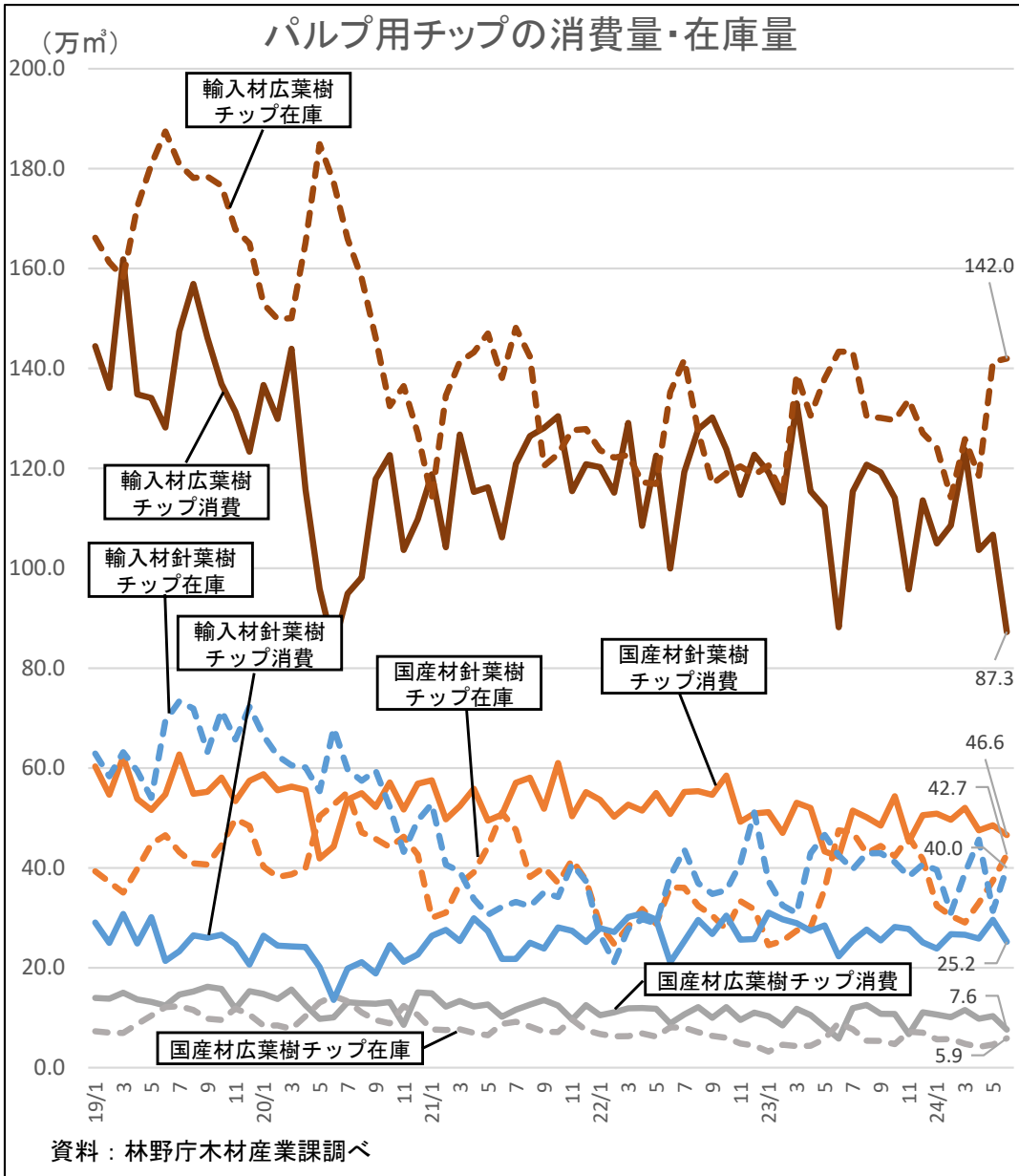


	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1～7月原木入荷量合計(千m ³)	3,067	2,724	2,985	3,522	2,363	2,421
2019年との比較※	-	89%	97%	115%	77%	79%
1～7月製材品出荷量合計(千m ³)	1,945	1,703	1,890	1,828	1,414	1,408
2019年との比較※	-	88%	97%	94%	73%	72%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

(3) チップ (全国)

- パルプ用チップの消費について、2024年6月の輸入材広葉樹チップの消費量は87.3万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は46.6万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約10倍）。

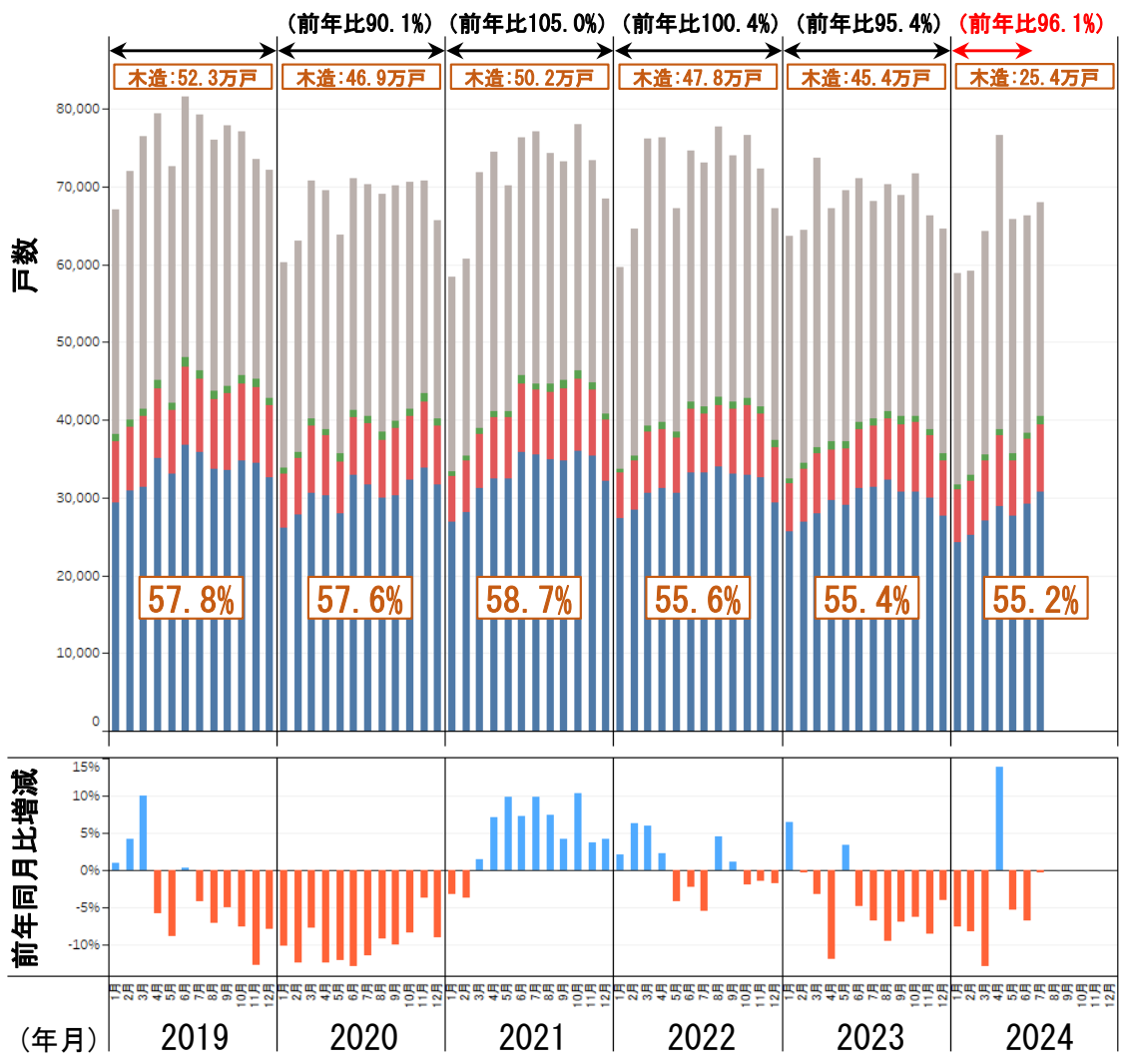


3 住宅着工戸数の動向（2019年1月～2024年7月）

- 2023年の新設住宅着工戸数は、82.0万戸（前年比95.4%）、このうち木造住宅は45.4万戸（同95.1%）となり、2022年の水準を下回った。
- 2024年1～7月の新設住宅着工戸数は、45.9万戸（前年同期比96.1%）、このうち木造住宅は25.4万戸（同98.3%）。

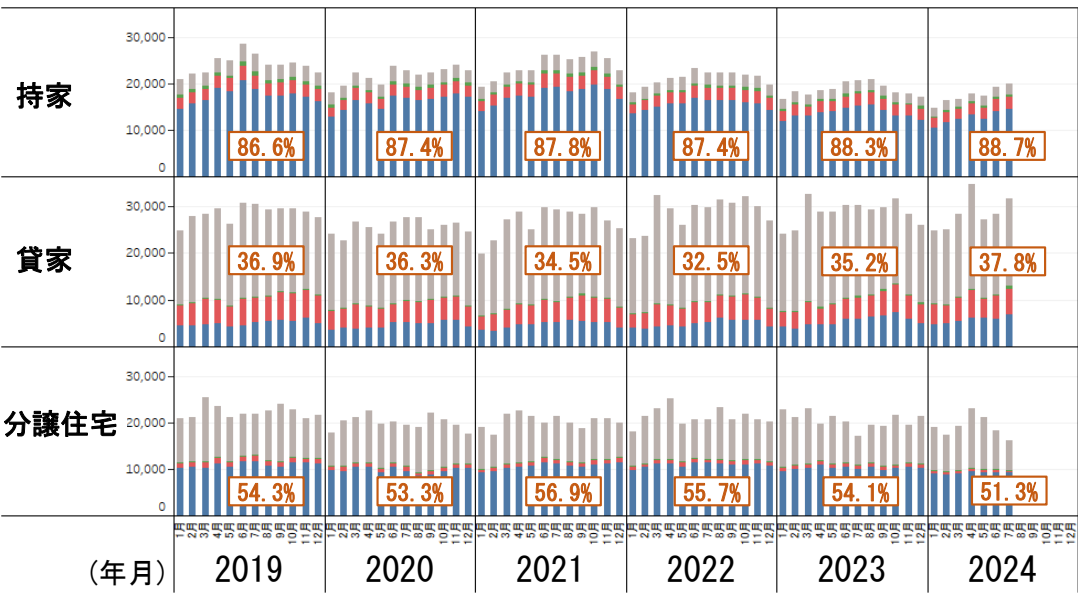
新設住宅着工戸数の推移

90.5万 81.5万 85.6万 86.0万 82.0万 45.9万
 (前年比90.1%) (前年比105.0%) (前年比100.4%) (前年比95.4%) (前年比96.1%)



構造別の着工戸数	2024年 1～7月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	459,040	477,700	96.1%	491,583	93.4%
■非木造	205,536	219,926	93.5%	220,993	93.0%
木造	253,504	257,774	98.3%	270,590	93.7%
■木造プレハブ	5,887	5,941	99.1%	5,464	107.7%
■2×4	54,495	49,883	109.2%	50,604	107.7%
■在来軸組	193,122	201,950	95.6%	214,522	90.0%
□木造率	55.2%	54.0%		55.0%	

(参考) 利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）

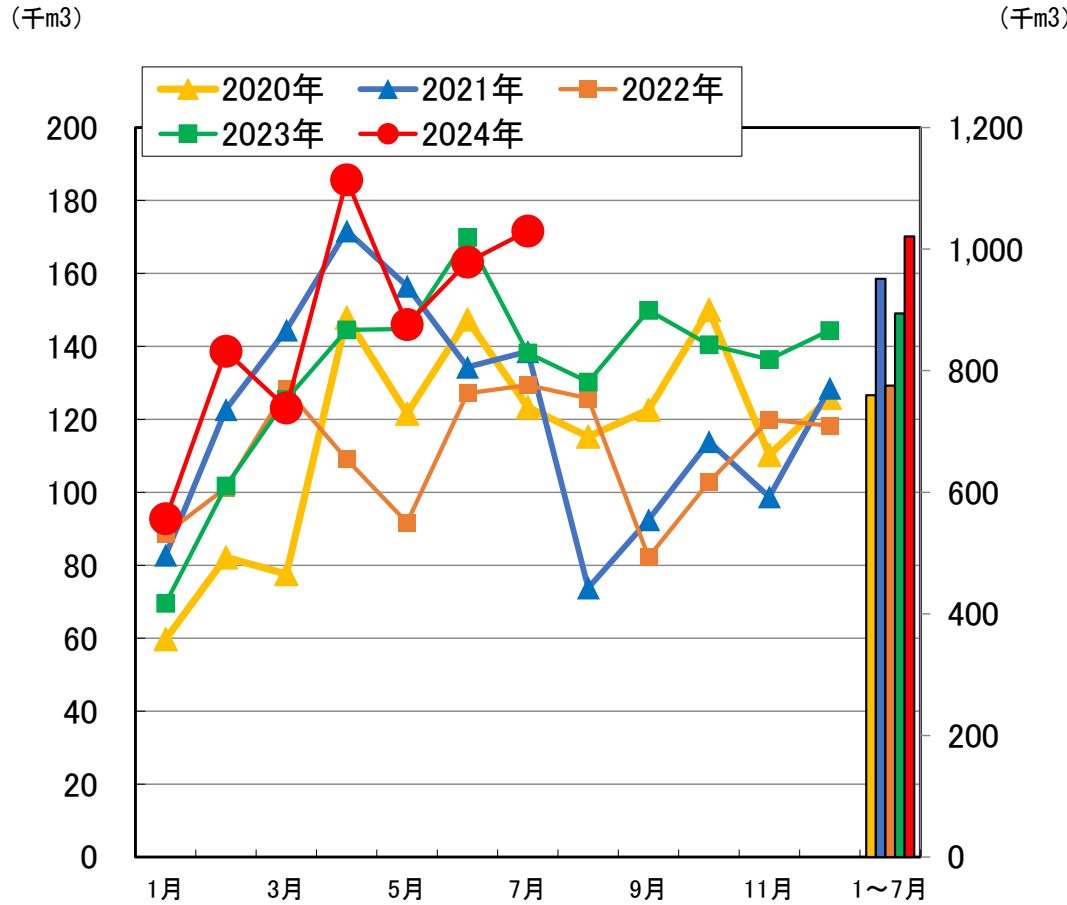


資料：国土交通省「住宅着工統計」

4 木材輸出量

・ 2024年1～7月の木材輸出量は、丸太1,021千m³（前年同期比114%）、製材85千m³（前年同期比112%）、合板56千m³（前年同期比82%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）



○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	7月 単月			1～7月累計		
	主要品目内訳(千m3) 前年比(%)			主要品目内訳(千m3) 前年比(%)		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	160 134%	5 121%	1 220%	913 117%	35 114%	2 137%
韓国	7 60%	1 121%	0 25%	63 102%	5 108%	0 71%
台湾	5 71%	2 81%	0 0%	42 92%	10 91%	0 25%
米国	0 —	4 156%	0 —	0 —	24 128%	0 0%
フィリピン	0 —	2 97%	7 81%	0 —	8 109%	53 80%
その他	0 63%	0 23%	0 307%	2 —	3 25%	0 153%
総計	172 124%	14 118%	8 85%	1,021 114%	85 112%	56 82%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千m ³)	
		1～7月	比率 1～7月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	143.8	14.1%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	27.7	2.7%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	27.4	2.7%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	15.6	1.5%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	17.0	1.7%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	11.2	1.1%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	277.8	27.2%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	500.4	49.0%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

資料：財務省易統計
 ※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計
 ※四捨五入により、数値が合わないことがある

※木材の集荷範囲とは対応していない